安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 アフィゲル Hz オキシダイザー

製品コード 1536055 整理番号 1536055

供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-2-4

天王洲セントラルタワー20F

担当部門 ライフサイエンス

電話番号 03-6361-7000 FAX番号 03-6361-8480

電子メールアドレ life ps jp@bio-rad.com

ス

ス 緊急連絡電話番号 03-6361-7000

推奨用途及び使用

上の制限

2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性 酸化性固体 区分2

健康有害性 急性毒性(経皮) 区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か

分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報 危険 H272 火災助長のおそれ:酸化性物質 H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き 安全対策

応急措置

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源か

ら遠ざけること。禁煙。(P210)

衣類及び他の可燃物から遠ざけること。(P220)可燃物と混合を回避するために予防策を取ること。(P221)

と。(P221)

眼、皮膚、衣類に付けないこと。(P262) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしな

いこと。(P270)

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

(P280)

保護手袋、保護衣を着用すること。(P280) 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこ

と。(P302+P352)

直ちに医師に連絡すること。(P310) 特別な処置が必要である。(P321)

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する

場合には洗濯すること。(P361+P364)

火災の場合には、適切な消火剤を使用するこ

と。(P370+P378)

保管 施錠して保管すること。(P405)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 (P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式		整理番号 安衛法番号	CAS番号
過ヨウ素酸ナトリウム	*	Na I O4	(1) –444		7790-28-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置 消火剤

> 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で 休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

特別な処置が必要である。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯する こと。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当て を受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

小火災:水。

大火災:火災区域に適度の距離から大量の水を 散水する。

粉末消火剤、泡消火薬剤。

加熱されたり、火災に巻き込まれると、爆発的 に分解するおそれがある。

加熱されたり、不純物が混入すると、爆発する おそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

可燃物 (木、紙、油、布等) を発火させるおそれがある。

火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。

火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガス を発生するおそれがある。

蒸気、または物質の吸入、摂取、接触(皮膚、 眼)により、重傷、炎症、死に至るおそれがあ る。

炭化水素(燃料)と爆発的に反応するものがある。

消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、 無人ホース保持具やモニター付きノズルを用い て消火する。

大火災の場合、火災区域に適度の距離から大量 の水を散水する。

大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。これが不可能な場合には、その場所から避難し、燃焼させておく。

特有の消火方法

容器が熱に晒されているときは、移さない。

6. 漏出時の措置 封じ込め及び浄化の方 法及び機材

大量の場合、漏洩物を回収した後、漏洩区域を 大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備 対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止 する。

可燃物や酸化されやすい物質との混触を避ける こと。

周辺での高温物の使用を禁止する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしな いこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

飲み込みを避けること。

眼、皮膚又は衣類に付けないこと。 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。

ガスの吸入を避けること。

接触回避 衛生対策 『10. 安定性及び反応性』を参照。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしな

いこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管 安全な保管条件 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、

はりを不燃材料で作ること。

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金 属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井 を設けないこと。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うた めに必要な採光、照明及び換気の設備を設け る。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透 しない構造とすること。

酸化剤から離して保管する。

特に技術的対策は必要としない。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管

すること。禁煙。

冷所、換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉して保管すること。

可燃物及び禁忌物質から離して保管すること。

熱から離して保管すること。 火源の近くに保管しない。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材 料

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器

を使用する。

消防法で規定されている容器を使用する。 国連輸送法規で規定されている容器を使用す

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しない ものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
過ヨウ素酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定

設備対策

保護具

手の保護具

護具

防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と 安全シャワーを設置すること。

保護手袋を着用すること。

ニトリルゴム及び塩ビは適切な保護材料ではな

い。ネオプレンが推奨される。

眼の保護具を着用すること。 顔面用の保護具を着用すること。 皮膚及び身体の保

適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 形状

眼の保護具

固体 (結晶) 白

無臭

データなし データなし 300° C データなし

引火せず データなし

データなし

データなし データなし 3.865 g/cm3水 完全混和性 データなし

データなし データなし データなし データなし

外観

色.

臭い 臭いのしきい(閾)値

融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰

範囲 引火点

蒸発速度(酢酸ブチル = 1)

燃焼性 (固体、気体) 燃焼又は爆発範囲

蒸気圧 蒸気密度 比重 (密度) 溶解度 n-オクタノール/水分

配係数 自然発火温度 分解温度 粘度(粘性率) 動粘性率

10. 安定性及び反応性

反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺 激性

眼に対する重篤な損傷 性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚

感作性

生殖細胞変異原性

発がん性 生殖毒性

特定標的臓器毒性(単

回ばく露)

通常通りの使用方法では分解しない。

危険な反応は起きない。

情報なし。

知られている範囲では存在しない。 知られている範囲では存在しない。

データなし

データなし

データなし

データなし データなし データなし データなし

特定標的臓器毒性(反 データなし 復ばく露)

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性) データなし ボニス データなし

間)

生態毒性 情報なし。 オゾン層への有害性 データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理すること

を推奨する。

上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規

則に従って処分する。

汚染容器及び包装 特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理すること

を推奨する。

上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規

則に従って処分する。

14. 輸送上の注意 国際規制

海上規制情報 IMOの規定に従う。

UN No. 1479

Proper Shipping OXIDIZING SOLID, N.O.S.

Name

Class 5.1 Packing Group II

Marine Pollutant Not Applicable Transport in bulk Not Applicable

according to

MARPOL

73/78, Annex II. and the IBC

航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. 1479

Proper Shipping OXIDIZING SOLID, N.O.S.

Name

Class 5.1

Packing Group II

陸上規制情報 該当しない。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

国連番号 1479

品名 その他の酸化性物質(固体)(他の危険性を有

しないもの)

国連分類 5.1 容器等級 II 海洋汚染物質 非該当

MARPOL 73/78 附属 非該当書II 及びIBC コー

ドによるばら積み 輸送される液体物

質

航空規制情報航空法の規定に従う。

国連番号 1479

品名 その他の酸化性物質(固体)(他の危険性を有

しないもの)

国連分類 5.1 等級 II

国内規制

15. 適用法令 労働安全衛生法

消防法 船舶安全法 航空法

16. その他の情報 連絡先

参考文献

その他

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

沃素及びその化合物 政令番号:606 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

沃素及びその化合物 政令番号:606 100% 第1類 第一種酸化性固体 酸化性物質類・酸化性物質 酸化性物質類・酸化性物質

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス

03-6361-7000

「MSDS Navi」日本ケミカルデータベース株式 会社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP) http://www.nite.go.jp/

厚生労働省 職場のあんぜんサイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。